






## 入学式・入園式を挙行

## ～こども園・下市小・下市中～



4月7日に小学校、8日に中学校、11日にこども園の入学式・入園式が行われました。コロナ禍の影響で式次第は少し変更されましたが、どの式典も晴れ晴れしい雰囲気の中、新入生・新入園児が、保護者の皆様や先輩に見守られ胸を張って入場してきました。

 小学校の楠校長先生は、「元気よく」「自分で考える」「やさしい人に」の3つの言葉を期待を込めて新入生

に送られました。  中学校の山崎校長先生は、「学びの追求(真)」「心の育み(善)」「夢の実現(美)」を説明し、「トンボの校章の精神は、下市あきつ学園(あきつはトンボの別名)へと引き継がれる。」と話されました。  こども園の中本園長先生は、「(広い運動場で)今日は何して遊ぼうかと、わくわくしながら登園して来てください。」と話されました。

今年度の小・中の新入生は、**下市小・下市中としての最後の新入生**になります。だからこそ、この1年間を前向きに考え、活気のある教育活動を進めていきます。下市小・下市中から義務教育学校「下市あきつ学園」へと、さらなる飛躍の1年にしていきたいと思ひます。

### 下市あきつ学園 小・中の意気込み

開校まで1年を切った「下市あきつ学園」。9年一貫した理想の学校を実現するために、小中の教職員は着々と計画を進めています。

4月8日、文化センターに両校の教員が集まりました。単に小と中が1つになるだけでなく、**多くの教職員で関わり、誰一人取り残さない教育を目指すためです。授業は「知識伝授型」から、アクティブラーニングへ転換させ、県の指定校となり「教えないスキル」の研究へ踏みだします。今後月1回協議を重ね、着実に教育の質**



<みんなで協議する小中の先生方 4.8>

を向上させ、**自由で先進的な楽しい学校**を作り上げようとしています。

### 県で優勝！ ゲートボール「ごんた」

4月3日、橿原の陸上競技場で開催されたゲートボールの国体県代表選考大会において、下市町の**ゲートボールチーム「ごんた」が優勝**し、6月に開かれる近畿予選に駒を進めました。心から嬉しいニュースです。

ゲートボールはチーム戦で、「ごんた」のチームワークは最高だそうです。きっと近畿予選でも力を発揮されるでしょう。下市から国体出場という期待が膨らみます。がんばってください!!

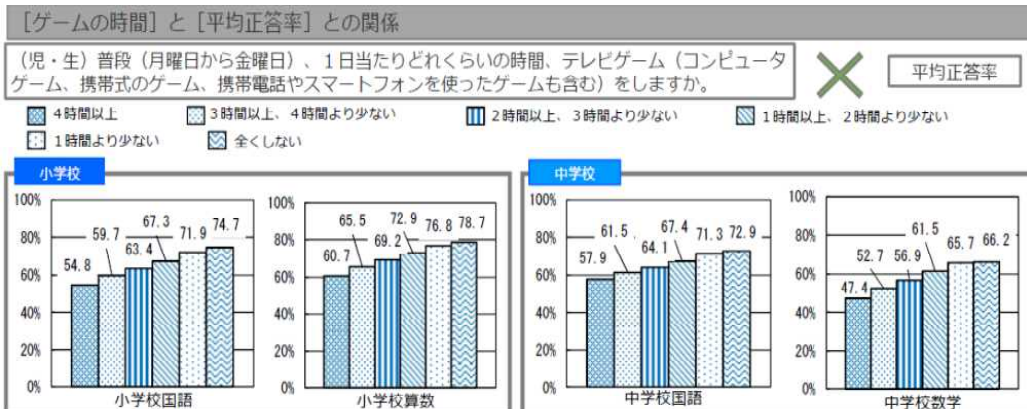


<優勝したゲートボールチーム「ごんた」のみなさん>

## いまだき教育事情③ ～ 全国学力・学習状況調査を実施 ～

4月19日、小学校6年、中学校3年の子どもを対象にした「全国学力・学習状況調査」を、下市小・下市中でも実施しました。国立教育政策研究所は、国語、算数・数学に加え、今年は理科も対象にしました。児童生徒向け・学校向けの質問紙調査も同時に実施しました。

昨年度の結果では、普段の日のゲーム時間（スマホ含む）と平均正答率の関係に注目です。家でゲーム等をする時間が短い児童・生徒群ほど、平均正答率が高くなっていきます。理由は不明ですが、明確な相関関係がありました。



## 誰一人取り残されない社会へ

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

1 貧困をなくそう



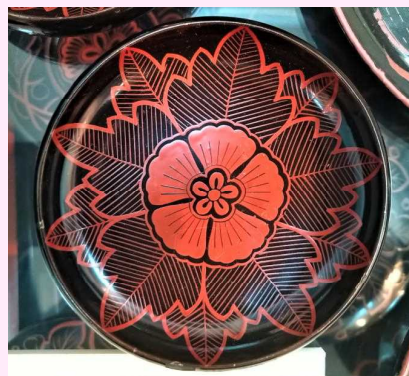
「あらゆる場所のあらゆる形態の貧困をなくそう」。SDGs最初の目標です。現在、世界人口の約10%（約7億3,600万人）が極度の貧困状態にあります（1日約200円未満での生活）。そして、開発途上国だけの問題かのように誤解されますが、日本でも相対的貧困は深刻で、子どもの貧困や格差が社会問題となっています。しかし、貧困撲滅への日本の取組は、2017年ユニセフの調査では、先進国37カ国中23位の評価でした。

<学校では、SDGsの理念と下市町をコラボで学ぶ郷土学習「下市学」を進めています。>

## 「菊田コレクション」② 下市漆器の小皿 ～忘れ去られた600年の歴史～

下市が、室町時代（約600年前）から漆器の生産地であったことをご存じでしょうか。奥地で良質の漆がとれることに加え、木地となる杉や檜が豊富であることから発展し、全国的にも「吉野漆器」又は「下市漆器」と呼ばれていました。黒漆の木地に、繊細な朱漆の線で描かれた五弁の草花文は非常に美しく、江戸から明治期には京・大坂の茶人などにも人気があったようです。

時代の移り変わりとともに、安価なプラスチックが主流となり、昭和の中頃には姿を消します。下市最後の塗師「ぬし梅」さんは、その道具を文化財として町教委に託しました。菊田氏は、その美しさに惹かれたのか、古い「下市漆器」を収集されました。そのお陰で下市が発展してきた歴史の一部を今も見ることができます。



▼五月雨(さみだれ)とは、旧暦の五月、現在の5月下旬から7月上旬頃に降り続く長雨のことを指します。転じて、一気に物事が終わらず、だらだらと続く状態をたとえる言葉としても使われます。▼新型コロナ第6波は、五月雨状態どころか、第7波が来たのかもあいまいです。止まない雨はないと信じ、じっと傘を差し続けるときでしょうか。

ご意見・お問い合わせは…  
 下市町教育委員会事務局  
 ☎ 0747-52-1711  
 FAX 0747-52-5159  
 ✉ kyoi@town.shimoichi.nara.jp